

Mayors 連合(正式名称:令和臨調「市区町村長連合」) 設立趣意書

GXやDXをはじめとする社会変革、人口減少や少子高齢化などの構造的課題、ナショナル・レジリエンス(防災・減災)、ジェンダー平等など、長年指摘されながらも解決に至っていない課題が同時に、かつ複合的に押し寄せてきている。

これらの課題に真摯に向き合い、人びとの多様化する価値観を尊重しながら、誰もが自分らしく生きる希望を持ち、充実感や安心感など、それぞれの幸せを感じることができる、持続可能で包摂性のある社会を実現し、次の世代に引き継いでいく必要がある。

令和4年6月に発足した、経済界や労働界、学識者など多くの有識者で構成される令和国民会議(以下「令和臨調」。)におかれては、「日本社会と民主主義の持続可能性」をキーワードとして掲げ、積極的に活動を展開されている。

日々、課題意識を共有し互いに切磋琢磨している、我々基礎自治体の首長有志は、令和臨調の活動趣旨に賛同し、住民に最も近い現場を預かる者の視点をもって、令和臨調と連携し、活動を展開することを決意した。

持続可能な社会をより良い形で次の世代に引き継いでいくため、ここにMayors連合(正式名称:令和臨調「市区町村長連合」)を設立する。

令和5年3月7日

設立発起人

福岡市長 高島 宗一郎
鈴鹿市長 末松 則子
つくば市長 五十嵐 立青
津南町長 桑原 悠